

編集後記

国立大学における教育改革が注目されてから久しいですが、多くの読者は「新潟大学歯学部ではどのような臨床教育をしているのだろうか」と思われるのではないかと思います。そこで、「卒前臨床実習のありかた」というテーマで特集を組ませて戴きました。先生方が学生さんに託す期待は大きく、システムの教育改革ばかりでなく教官から学生、学生から教官への信頼が強いことが良く理解できると思います。また一方で、「入学者の言葉」での新入生、大学院1年生の意気込みも伝わってきます。来年度から独立法人化になりますが、大学を動かしてゆくのが我々一人一人の力であることを再認識できます。

最後に、表紙の写真および同窓会関係でお世話になりました林教授と田口講師にこの場をかりて厚く御礼を申し上げます。
顎顔面解剖学分野 網塚 憲生

歯学部ニュース編集の途中で長期出張に出ることになり、歯学部ニュースの完成を見る事が出来ないのが残念です。しかしながら、臨床実習の充実化や教育改革など、新潟大学歯学部ではよりよい教育をめざしていることを実感しています。帰国するころには、新潟大学歯学部がさらに発展しているのではないのでしょうか。北欧から先生方や学生の諸君にエールを送らせて戴きたいと思います。

顎顔面口腔外科学分野 小野 和宏

今回素顔拝見・留学報告等を担当させていただきました。ほのぼのとした家族写真や友人等のお写真など、各先生方のお人柄がにじみ出る紙面になったと自負しております。他のコーナーにおいても、皆様、執筆を快諾していただき、きっちりと締め切りまでにご提出いただき、ありがとうございました。

特殊歯科総合治療部 大島 邦子

編集委員に参加して、歯学部ニュースは学生さんの保護者の方々に大学の近況を知っていただく手段のひとつであることを知りました。病院の統合や独法化を目前に控え、我々内部の人間でさえもよくわからないまま大きなうねりを迎えるにあたり、保護者の方々のご心配はより大きいものとお察しします。この歯学部ニュースも、一時は廃刊の噂もありましたが、ぜひ存続してほしいものです（編集委員をやるかどうかは話が別ですが）。

口腔保健推進学分野 山賀 孝之

今回入学者のことばを担当させていただきました。原稿依頼時には、皆さん快く引き受けてくださって感謝しております。どうもありがとうございました。有意義な学生時代になるよう、これからも色々なことにチャレンジしてください。

小児口腔科学分野 佐野 富子

エイプリルフールの翌日に、全く突然、『広報委員をご担当いただく事になりまして、本当にご苦労様です。』というメールを頂き、どうやって決まったのか不明なまま、8月末に至っております。

ちょうど学生さんの部分を担当させていただきました。歯科の勉強以外の歯学生の一面も知っていただけだと思っております。

摂食機能再建学分野 五十嵐直子